以府、重要國策を協議

《本國空襲を企圖

空軍基地建設

一次襄東作戦の火蓋切らる

區主力に猛攻

現在の時局認識には冷靜第

有田外相、所信を披瀝

子父ルベーナュシ



を は がいても はないても

光山頭 多三木有

DE PR ラザースの第一整ノ では、日本のでは、日本に

服 部 逸 郎 曲



新田八郎











- 1 で - 1 を 2 で - 1 で - 1 を 3 で - 1 で -

ストコフスキリ担発の公職 サガカサル サル 作林マイト・・モニック教教園ヴァイスパッへ 指揮Cチャイコッスキー 作品関ル パドウルー管秘密 # # # メルケル 響曲







★ 今日 みた相撲 ★ 今日 みた相撲 ・ 大ハトピアソビ ・ 別帯圏







和十五年度和洋泉和日経の布里のなど、 本小単生の歌光章合唱圏

り
さ
學
重
代
表
歸
る

神宮に歸還奉告、本社

脈々しく華北記者国入城す

3 3 當 "公





旭丘中學鹹人

東宝

日滿貝婆。日念

エノケンのざんぎり金太」と同時上映中 **岩草東宝映画劇場** 開備

不定の秘密

问時上映《 **爱**

クラベ Own

明コガ

ミヨシ

本語に 本語に 本語であれた。 本語であれ















ます。

本学校園で、 本書の では、 本書の で

の目前を建するのである。 の目前を建するのである。

である。それが対条なのである。それが対条なの は目である。彼に小便を探って見て 本が祖に城とない様では 米が祖に城とない様では である。彼に小便を探って見て かればにない様では

株原度音は重くの範疇に 離ってけならね。一部注 避ってけならね。一部注 で、さは小郎である。 で、さは小郎である。 で、さは小郎である。

艮ごするか 音

治 せ

香を出してゐるでである。 香を出してゐるでである。 On・m型かと ー ト ル ブ On・m型かと ー トルブンゼルア On・m型かと ゼートルブンブルア On・m型かと ゼートルブ ナ キ On・m型かと ゼートルブルーコヤアタ On・m型かと ゼートルブメネ 店商古友迎認 阿魯坦亚爾市班大 和木區都水田市京郊 町門本 田 市 坦 京 和予和版本大市次湖 単進代無・泉海の摩活 → 子母

地在や所売専グッラド田有

四世界・有田田版版・ 特 聖・司 駅 があります



作用のないものが展列級で、 作用のないものが展列級で、 では、一般の観響で、 では、一般の観響を で、

壯强血補

ンモルホトウア血流 藥備常院病大帝各

からまく炎 シン

もの差がある

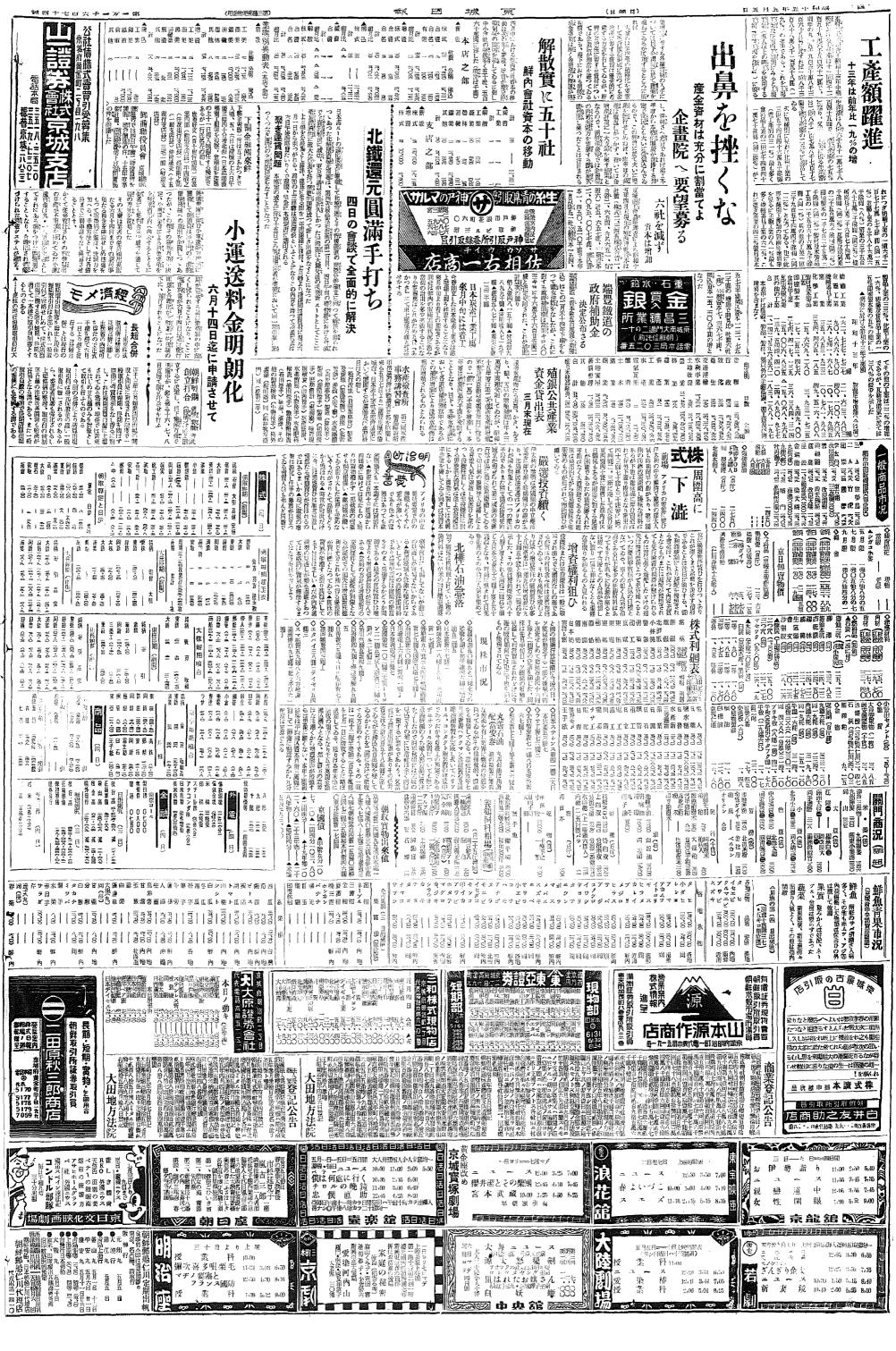
實充力精

成虫、幼虫、卵ま蚤、虱、南京虫の て全滅する猪印

如何なる薬剤を見取淋病患者はを見

毒は

化强力抗抵



安陸方面大進擊狀況

四

實株の専問業 時流に投ずる妙味!

80 安風生

选科 十四 经

★俳句三代集★

日 田 蛇 奶 南本 月 丰 審査量

新年の部(名 九) 園園

改造社



卷-全 卷 附 **排律由自**

句の威容!! の完成と堂々新俳 の完成と堂々新俳 中 塚 一 碧 樓 選

克利 定價 二 图 医科各十四 矮

人流轉

生遍路 記ノに宣撃たる米東亞の新事態

送料 十四 鍍

r·L·F 刊新最 著ンレ 譯實 田福

諾軍司令官が悲壯な聲明

座黨が横暴

延安大會で公然府を非難攻殿

集全學文本日新

歴思馬機厨時紋 ひ 月 史出車械記計章

目次

横光利

集

回三第

中本配

・動産評價の理論と實際・花島得二著

本年報に 1937年の報告 中央 1937年 日本年 1937年 日本 1937年 日本

版年五十和 目

次

發 開

經

(刊新最)

 $\bar{\Xi}$ 重

式

15. 大阪商船旅出机

「中国回通田伽羅」に出る
「東京都大イント」
「中国の通田伽羅」に出る
「東京なのと関すった」
「中国の通田伽羅」に出る
「東京なのと関すった」
「東京なのと関すった」
「東京なのと関すった」
「東京なのと関すった」
「東京なのと関すった」
「東京なのと関すった」
「東京なのと、「東京など」
「東京など」
「東京など)
「東京など」
「東京など」
「東京など)

「里京市活」也早大學野総春季リ

慶法一回戰

慶應勝つ

頭打に出で物打に表いれ

一個に別郷はれ、紫に十回の

现 超相 田山木井 H田 6578214993

六大學リーグ

東亞東京大會

であつた集芸芸(日大)選手は

解説で人際加機中

の様で呼び間機の

例 福北に変も同歴」

動を殴れば、機能点

GBBB00等(五日干逆二转、耐火爆入五日干邮干等、大學道里) 连接七時、大學道里)違語對

| 「「「「「「「「「」」」」 | 「「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」

秋式庭球代表 | ◆日韓田 第 回至新華手權大善

所) 各二同種、決勝の場合(4 所u) (1時) 源語 駒殖 嶽(3

けふの運動

◇エ ? 補化 (単語自報連動記者、 壁球日本代表) 簡先を三日衛慶 半球で概差界入り

《如母》京師斯傳學改與 《如母》京師斯傳學改與

○鞭膊 學生水煎点城大會、水原

中人世年世紀十二十 中海左右一二三段用PP 田田松田一湖山本岡州區

顕物鬼京大尊を開歴、使言四名派は二日午後六時本的において単原 大倉部造影を通じてEの様く競技「門館廣選到着(9時) 子十二名(大組)を決定、三日俊一、八定門開展(日時80)

紫野球リ

ふから開始さる



れてゐる 『トモサン』 して各方面でさかんに質用さ

とは

一今ま評判の新月路乗と

行して、種々の刺戯をさへ 膜に回復させる作用と きりなから、これを健康粘

の胃腸薬が主效とした消化と

何よりも先づ胃腸病の病源をか榮養とかは第二の問題とし

時的

にあらず、本格的の療法

雅農林鐵丁品

柳岡商會

人の生活のためなんです

さうすれば、、みんな、

使ふ人、賣る人、作る

みんなの為なんです。

岩ラ

下さい。

「買ひだめ」しないで

日(交番所前)

働きが活潑となる

での消化剤、榮養剤、蘇

第二に、竪高作用と言ひ……

臂腸病に最も書のある質器

自然力を膨んなら

治療し、それによつて胃腸の

の獨特の薬理作用は…… 胃とか腸の粘膜に生じてる

の有選素と腐敗酸酵物で さらに腸内に繋がする種々 さらに腸内に繋がする種々

・ できょう ない きょうのが新し 自身の難さで食物を消化し、自場の対応の

む方は、一日も早くこの最新

しないんだ」」回の壁に明

3

うまくゆくんです。

品切にもなりません。

To the second

永年の優性問題表で**個**

格的に治療なさるやう、 の胃腸薬トモサンによつて本

らお奨めします。

大〇錠入(十日分) 七〇鎖二七〇錠入(徳 用) 三頭七〇

販賣元 東京市日

友

H

合

會

法人登記公告

如道题前:3萬六千六倍五回。 《四百四歌委千六后六口一、启 《水川奇趣前才左/而乾更才 《水川奇趣前才左/而乾更

りまさん

栄養にな

3

提替口座・東京一九三八番目本橋(2) 一 長八、長元

→打分の大量になる 数み域に潜くとサイダー

本橋選本町三ノ

と、被復作用と言ひ……

とは全然、本質が相違し、

全鮮自轉車選手權豫想

部門に関すべきものがあらう

分までと違ふ治療法

京城實業春季野球リーク

接戰十六

最終回徳島の暴投に決す

殖銀逐に遞信に敗る

【東京整治】帝立一回帯に明治

1912年,西月、藤田、水筍、(千分) 18 正となったが、方引は四四に主方疑問敬しく試合は一

一宫崎一井上、師本一字寺一併校 大衛一宮崎一岩本、三

将の可能を行び散職とお式した一般的問題を行び散職とお式した 販佐職盟委員の原後、原田和銀主防期、収別所長に對する歌謡の技

■ 一元被雇田左都安打:帝山市 ・ での職をなったが廃土役組 ・ 十四回(策)三者凡述(波)二 ・ 大砂板略頻繁左を改ったが廃土役組 ・ 大砂板略頻繁左を改ったが廃土役組

遠四球に出で一、二番間に供校類が、高田郷値に17池、川南敬様打・高田郷値に17池、川南敬様工工団(飯)側印度加夫、三川

ーグ戦は四、五、十二の三日間、 春季學生弓道

療する薬が發見され、最近は各方面で認識を高 治り難い慢性胃腸病を今までと違った作用で んでゐる人が多數にあります。所が今度、この 服んだり手當をしても仲々治り難く、 胃腸病が一度コチレて慢性になると種々の樂を 盛んに賞用されてきました。 かなり

足の人、咀嚼の不充分な人、 の人、刺枝性、甘味性、脂肪 の飲食物を常用する人、運動不 飲暴食 規則な生活

は大腸カタルとか、赤痢とか、 ピール、タバコの好きな人、 容易に元通りにならないのは、 人が、一たん智勝を思くすると には、知らす~~炎症(ハレ、 からした人達の胃とか腸の粘膜 「核とか、その外上病を患つ

れて伸く治りきらないからです症が日々の食物に絶えず刺戟さ グレ、キズ)ができ、その炎

やけとか、胃痛とか、便通とか でも本格的に良くならないばか つてゐますから、胃腸はいつ言 野心のこの炎症を治すことを 時的に良くする葉を服み、

関カタル、胃酸過多、胃 タル などの種々

臉があります。 胃治傷、胃癌、腸溃瘍となる危 化して潰瘍性となると、重症の もしこの炎症や腫爛が思 の症状を依

たえず胃腸が至く悩んでゐる人

鳴などがつじくとか、一日に五 ▼…或は下痢便、しぶり腹、総があつても食べられない。 あげる、食後か空腹時に胃が 物、幸い物、脂ら物が好きで、 回も六回も下痢のある方。 腹が張る、寛然がない、

腐敗艦隊物などを満掃すること治療し、同時に胃腸内の有密索 が根本問題であると言はれてき 膜に生じてゐる炎症とか整覇を には、何よりも第一にこの **從つて慢性の胃腸病を早く**

新時代の學理に基へ

强壮 朝夕の一杯は

万"

信無轉

00 0 城沿自動車株式會出

築ができました

が今まが判の新胃腸薬 と、に着眼して創製されたの

こんな症状に 特に好適です

胸やけがする、客酸が込み

「トモサン」です。

元氣を増す 疲れを踏し

健康の

SOL MINO

酒 井

益婦 競技

を 人 の 病

鬼爭

赤海院

支店 翠塘、大邱、岳平本店 京城府南大門通二

能

其他一般信託 費勞案內 置贈內衆漢基

るけ於に科人婦

高炎性ルタ カ種各 爛糜 邁 潰 膜 粘 炎膜內宮子 下帶

ルタカ管頸宮子

の性海淋に特 効有しに会場

70

店商吉友澤藤 社會式株 明本區播本日市京東·阿修道區東市医大

3(緑人科領域に賞用せらる場所という。 特に外用郷下薬と止め肉芽新生、乳酸生成を止め肉芽新生、乳酸生成を止め肉芽新生、乳酸生成をの不快を除き症状を軽快な

治療剤の權威

1.5

期信通道機宜 水原支援の同じ、日本の一体では、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きなのでは、大きないかでは、大きないでは、大きないでは、またないでは、

作業場で経死「山三」

風に飜るけふ端午の節句『春川所見』 本海、岡州、河川、安城 一般宗寺前作家湖で始めを望げた 中海、岡州、河川、安城 一月沙元時ごろ動物先の大和町朝鮮

祭した部仏山城職長は一百、次の日まで道内各地城道「胡城蛇を得日まで道内各地城道「胡城蛇を得

を作数し四日開城神社へ密閉したとして今大平整勝召開子の記録歌として今大平整勝召開子の記録歌

現山、流州、原紀、沃川の五ヶ 部に誇り延長四十粁になるが豊 終期に入るのと土木丁事の施行 とから合って一部では眺め成績 が良くないが大部分は良い、特 が良くないが大部分は良い。

の港祭 十五日午前十一時神輿發幸

の一角一晩中御師関はお婚婦内の一角一晩中御師門は本年から北上川祖
「新賀千優三時▲瀬柳奈 午後五

青訓整備に

◆角融網問日 五月十、十一、 総即日子の他は左の通り登近され「一川」昭和長野女単枚の人科談

昭和高女入 試期日變更

一千圓奇附

が、武秀第その他左の誰も決定し 登举 午即十一時▲加政所君午。京、西上祭 十五日午即十時▲卸期夜京 十四日午绝八時▲及幸

譽れの勇士の兒らへ

贈る貯金通帳 端午のサンタクロースさん 石町郷松道、観館衛北県町の金光市夫、同武万数一、蜀 戦を原物: せた 戦動し選にこの事に出たもので 一切 変更に帰聞し乗り者場合の。所に い

郷土を思ふこの情

慶北出身の炭坑勞働者から

の貯倉が観を一通つつ時間 領に関り部のが何か時へる」

世親継数は根型観点の一般となったのからが、のうち所を担当が上親雄の大人の赤

資海道郡守會議

知事會談での指示を徹底

廿日ごろ招集の見込

認思を示述しとれが私用機関で周期し即に登録を招集、知言會議の期上即は管議を招集、知言會議の

は年月二十日前水

ゆる問題に配いて無機能を加へ として明 居されてある が、さ

の形された大方針の財理間につきる音であるか、食材知事は、政器

開かるべき都等資齢の焼きも情際に触た物館を加へてあるので近く

情様民有様教六千和野を原実 金剛山一際に大火がかた上し國 が就中央部の両なしい発金脈 神医できれ村は町三百町形に 赤松成木を賣拂つた一萬圓で 芸術月三百町中内より就して、改変を行うととなった、なに芸術は丁百里中の地名は、 で、一周明いにしてある。 市したの環境性の動としている。 で、一番の様々が開始していたのでは、 で、一周明いにしてある。 市した語した、関係ないでは、 関係ないでは、 で、一周明いにしてある。 市した語した。関係ないでは、

高問題就就たる部式に對し力と創りものたらしめず地方における最

を以つてその方針を簡明し一大路

|改山|||破州震災では国民朝||取

をしようとするもので調整は

大 (幅のあながながれる。) 角膜質質炎 (船目の屋は幅目です) 腰精疲勞(娘がひどく腹れて頭)

、俗に含み島は危険の

早克工事の犠牲 死亡廿三名こいふ數字 (死人) ▲ 知恵六 (死人) ▲ 知恵六 (死人) ▲ 和耶六 (死人) ▲ 和耶六 (死人) ▲ 四五 (死人) ▲ 四五 (死人) ▲ 四五 (死人) ▲ 四五 (死人) 林道には附近の部落民が自扱的が進捗状況が非常に良い、既設 てゐるので解析しく思ばれた」の称を敷き並木を積またりし

して国りまた他の問題し事もな 都学から総巻劇腔として図欧際般いので単角は労働力してあった。の重賞を力器、警覧監理修言を禁め連携的比較大学にはい、密載、間して昨天した 富平瓦斯製

現在でものは四月末開発となったものは四月末

光州 (66) ◆谷曜三 (死二)▲求昭一(死)

その合計は死二十二名、百

||光照数単類として着丁し

幽霊に非ず 殺した筈の男が蘇生して

【春日】 女師の果然時日供幹部組みないに、さずがに出り的はの気線に元すに至ったが、右接触機は先の中歌からのスローガンの下に努力して悪た疾病・内重度、用作組織用論は近に「千百齢萬個といよ物が残の疾<equation-block>を示し、さずがに出り的はのも月間に撃砲打つて一起といっま事類は揺れる 貯金報國つひに成る さ上のない物を見た事は前の酢を膨させてしまつたが、無難して地 - 蘇生し、助けを呼んで通行-れで総ったらながな ・耐立にあった場で十歳代のおい前は、職は、職までも」と関係した。 殿り数したばかりて早合版「形 人来最終で取割べ中

白餘萬圓

悠々目標超えて

桃色男女四十名

開城署檢索の網にかゝる

大鍋雅万路協高版報建党を投授州、新城州等の租地所長を經に州、新城州等の租地所長を經に大り釜山、補民は順兄島縣の田身、仁田樹橋 共同數學等的發展時期 入の動き

(特別のため) 日本社語政府支局(特別のため) 日本社(川支島政) 質け(開発して) 領任機関のため 三 領土の (開発して) 第14 (用来) 第14 (用来

大邱放送局は

十四日地鎮祭

釜山の二重放送も近く着工

氏 上へ 住民から自初らに対土 ▲を翻組氏 (江南寺県相信即事) 社 くとら与来たはは20多種(当日 しま) なることになったが、完成の時 (日本) なる・日本では120多種(当日 しま) なる・日本では20多種(当日 日本) は一日本(日本) ないました。 日本(日本) (中国・日本) (中

の地衝祭は来る十四日に行ふ除り切つてゐる、なは大田四路局でには二十五萬人にしょうと張 でには二十五萬人にしようと張増加であるが、夏に本年度は八 シネマ海葵の間人

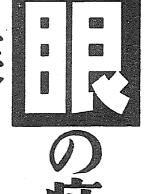
次の如き眼病に

トラホーム

(あって置くと失明す)

急慢性結膜炎(帝間し眼ヤニが多い)

療治 於て格段の相違があります。 復します。蓋し蓄式眼薬とは効果に かに不快な眼病を治療し、疲勞を恢 こを減じ、眼中をサッパリさせ、 日戴回の點眼で、充血を除き、眼ヤ スマイルの快よい殺菌消炎作用よー くありません。 5



(定價) 二十五錢。四十五鍋

の頭店にありますりの頭店にありますり

れて、眼の疲勞、光血に悩む方が少 炎やトラホーム、たいれ目が増加し またギラノーする强い光線に曝らさ 新線の頃は眼病の多い時です。結膜

藥科眼新

00

總代理店

類 即 株式會社 E 173 1国 商 慶南からも六氏が出席

の業者宣

映畵班も出張だ



道具・軍刀響

八道回公

| 邦英タイプライタ間社

邦英タイピスト義成所

本力階を発展して

版 電影 美容術 **版 電影**、美容術



部本(3)三四八・一九)九面 一月、横点傾見人・一九)九面 京原特に「山市し土・ 京原特に「山市し土・ 京原特に「山市し土・ 京原特に「山市し土・ 京原特に「山市し土・ 京原特に「山市し土・ 京原特に「山市し土・ では、「大田」

真い材料

台 鷲 案 内



屬型 古城憲治

私立探偵 介林蕉即 電本5364 院所化算 山川 一川 地域 地域 かられる の 中市地域 本地 観 を が られる が られる が り、 たい が られる が られる が いたれる 科 は ない が いたれる 科 は ない の では の では

大会型では多数である。大会型では多数である。大会型では多数である。大会型では多数である。大会型では多数である。大会型では多数である。大会型では多数である。大会型では多数である。大会型では多数である。

昭和用達がだい 達場的計畫 **ち専門**(大は10巻) 京城肛門科器院7309

智本5912

立期成

(#

監市木面會

洋服顺高價買入 タイピスト第集 和文、女際経済等限領別であり 五時は、七日、午町九時より午後

電話商品券質員

合同產業。會社

服然所谓 甲基酚 医二乙基酚 医二乙基酚 医三乙基酚 医三乙基酚 医三甲基酚 医三甲基酚 医三甲基酚 医三甲基酚 医三甲基酚 医二丁基酚 医二丁亚 医二丁基酚 医二丁 本 第 1 田 **邊** タイピスト会奏

名 刺 上面且透得夹土土 無八浦原飲治 中 美 型 作

和洋服。四首

特别案内

雅本洋服店 本語學等是基本 本語學等是是基本 本語學等是是基本

中古・シン高田県人
即用の内は郷ー和米男第上
京城高温・ノニ七・楠ミシン高田県人

短話質質 富 商 會

雜

電

一般ではいる。 一般では、 一をは、 一を、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、 一をは、

女中人用原來型工戶

内田寫<u>眞</u>機店

不容院

雇

京日案内

学女・サスター大学が対象が

クロダ歯科

女店員採用 安店員等 京師第6-15年 京師第6-15年 京師第1-15年 宗師第1-15年 宗師



竹田敏彦産

(70)

朱 增 原 \mathbf{H} 野 Ш \mathbb{H} 多 井 初 良 秉 廷 秉 倘 相 國 永 鎭 定 英 良 辰 太 左 (いろは順) 悳 郞 釴 浩 昔 衠 焕 助 勇 助 烈 綠 郎 基 直 智 武

大 邱 府 電話三〇五〇井 冗 中町

大邱印刷合資會社

朝東朝漢殖朝商合大 鮮洋鮮城產鮮

大邱柱建築業協會

府

大 郎 郵 便 局 金 尙 融北 組道 合

大 邱 製 絲 所片倉製絲株式會社 大邱 鮮 製絲株式會社 生絲株式會社

南鮮 大 Éß 1)0 支 武之 三吉助 店

慶

A THE STATE OF THE す活を美の肌若な新清 くのです ONTERES OF THE STATE OF THE STA

信原課長の腰辨談義

戦火を追ふ半島商人の逞しさ

海からペンの戦士

び頒布會

晴れー 時最り で表の天氣

加藤壽命先生謹作

開催中

四階美術部

研蟲

驅除新

樊捶听的研學科蟲防 茨<u>斯</u>

後に斃死します。幼力を現はし、之れに觸れた同族全部数日の幼力を現はし、之れに觸れた同族全部数日の蟲に附着し其儘に戻る事によって永續的な撒杯の

通路に掛いて置くだけで其虚を通った。 この人畜無害の微細な粉末は蟲の

房 藥 井 新 房藥井新津清

王人を滅多斬り

不親切を恨みの兇行

マリコモ ウツショニ ウツショニ デャウ ダイ

名言語は 香物まとす

日・二年・三二日

二、 茶、 集、 人 員 第二届生工会

成鏡北道交通安全協會

イギリスこそ諸軍の敵だ



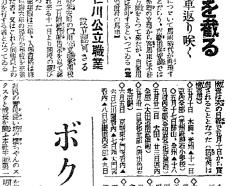






大學 生民 競店 に 京城帝國大學御川





材料高で現金でなければ

しませ

辨當屋が爆彈宣言

されてみます。略に、ないでは、一、のでは、これである。 ション |風五十回 | 熟店にあり 黄























熔岩の破壊力

なられた國王

正允

塚田氏銀の移動

(〇〇・五-) 大錠百 (〇五・三) 太錠〇二

機性疾患機性疾患機性疾患病毒</l

及登記公告

を許さない。 関に終に護期的 質に終に護期的

芸術院に於て ないことは数

ボイチカ)の合著しくは超減せいが、

日(月)

りよ元曹帝を審明讃献文表清 💂 🛭 りるに店貨買店製法・概念●

回勝

回目

目の意義 小野田千代太郎

不觀を許さぬ我生絲

が靴下

朝の部

日(日)

灰素と液體酸素

少年二千六百年

のに加まり、上流への最佳路のでは、 のに通り、上流への最佳路のでは、 のに通り、上流への最佳路のでは、 のに通り、 のに通り、 をある。 のに通り、 のに通り、 をある。 のに通り、 のに通り、 のに通り、 のに通り、 のに通り、 のに通り、 のに通り、 のにのして、 のにのしのしで、 のにのして、 のにのしの、 のにのしで、 のにのしで、 のにのしで、 のにのしで、 のにのしで、 のにのしで、 のにのしで、 の ○前頭丸 継戚 日 神郷 日 〇九型5 期間 1月 人日 〇九型5 年 1月 1月 1日 〇大型6 年 1月 1日 1日 〇大型6 年 1日 1日 1日 1日

設定の部間に有くお収置に生まれば

在人登記公中 シタリ別言ノが細ヶ岳フ語の最接種 **蘇聯島致院出張所**

dimethy

真鲜明记定期